

東建連発第49-1号
平成22年2月19日

(社)青森県建設業協会
会長 杉山東幹殿

東北建設業協会連合会
会長 宮城政章



総合評価における地域貢献評価について

時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、東北地方整備局においては、去る1月19日付で総合評価における地域貢献の適用拡大を公表されました。

新たに、「消防団協力事業所」や消防団に協力することにより表彰等を受けている場合については、高く評価戴くこととなっております。

地域に根ざした建設企業として、消防団へ入団し、活動している社員を支援している会員企業も数多くおります。

しかし、東北六県の各自治体においては、「消防団協力事業所表示制度」を認定しているところがまだまだ少ない現況にあります。

このため、会員企業より多くの相談があり検討の結果、東建連発第49号を以て別紙のとおり、善処くださいますようご要望申し上げたところであります。

つきましては、該当する会員企業におきましては、必要書類を添付の上、入札参加されますよう、ご周知方よろしく願います。



東 建 連 発 第 49 号
平 成 22 年 2 月 18 日

東 北 地 方 整 備 局
局 長 青 山 俊 行 殿

東北建設業協会連合会
会 長 宮 城 政 章

総合評価における地域貢献評価について

時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

常日頃より、建設業界の発展のため特段のご指導・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当連合会においては、地域住民の安全・安心を確保するため様々な社会貢献活動を推進し、地域の発展を支える「技術と経営に優れた企業」として鋭意努力しているところであります。

さて、去る1月19日総合評価における地域貢献の適用を拡大していただき厚くお礼申し上げます。

特に、「消防団協力事業所」や消防団に協力することにより表彰等を受けている場合については、高く評価戴くこととなっております。

地域に根ざした建設企業として、消防団へ入団し、活動している社員を支援している会員企業も数多くおります。

しかし、東北六県の各自治体においては、「消防団協力事業所表示制度」を認定しているところがまだまだ少ない現況にあります。

このため、「消防団協力事業所」の認定がなされていない企業で、消防団活動に積極的に協力している企業についても、同等の評価を戴きますようご要望申し上げます。



資料の121

平成22年1月19日
東北地方整備局

総合評価における地域貢献の適用を拡大！

—消防団協力事業所を評価—

今般、岩手・宮城内陸地震で代表されるとおり災害時における建設業の役割は重要であり、各自治体においても建設業に対して災害時の対応の期待が非常に大きいものがあります。

また、一方で、従業員が消防団員として活動したり、消防団に資機材等を提供することにより市町村等より「消防団協力事業所」として認定を受けている建設関係の企業も増えてきています。これらの「消防団協力事業所」は、災害時において総合的な地域の防災力を高めることに寄与するものであることから、今後、総合評価の地域貢献の評価項目に地域防災の協力体制の有無についてを拡大し、「消防団協力事業所」に認定されている企業又は消防団に協力することにより表彰等を受けている企業を評価することとします。

また、既存の総合評価の地域貢献の評価項目である災害協定等に基づく活動実績とボランティアの活動実績の評価対象期間については、過去5年間の実績で評価していましたが、地域貢献の継続性を促す観点から評価対象期間を短縮します。

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 022-225-2171 (代表)

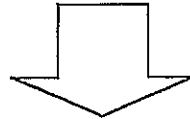
企画部 技術管理課 課長 加藤 信行 (内線3311)

課長補佐 赤森 充 (内線3313)

(1) 地域貢献の評価内容、配点の見直し

【現行】

評価内容	評価基準	配点
平成16年度以降の災害協定等に基づく活動実績の有無 (評価対象の例) ・災害協定に基づく活動実績 ・大規模災害時の応急対策実績 ・維持工事などで実施した小規模災害を含む災害時の活動実績 (発注者側の要請を受けた災害応急復旧等の緊急作業 (待機を含む))	活動実績有り	4.0
	災害協定の締結有り	2.0
	活動実績無し	0.0
平成16年度以降のボランティア活動実績の有無 (評価対象の例) ・災害ボランティア実績 ・クリーンアップキャンペーン	活動実績有り	2.0
	活動実績無し	0.0



【改定】

「消防団協力事業所」を地域貢献として評価。それに伴い配点の見直し

地域貢献の継続性を促す観点から評価対象期間の見直し

災害協定等に基づく活動実績 過去5年間の実績→過去3年間の実績
ボランティア活動実績 過去5年間の実績→過去1年間の実績

評価内容	評価基準	配点
平成18年度以降の災害協定等に基づく活動実績の有無 (評価対象の例) ・災害協定に基づく活動実績 ・大規模災害時の応急対策実績 ・維持工事などで実施した小規模災害を含む災害時の活動実績 (発注者側の要請を受けた災害応急復旧等の緊急作業 (待機を含む))	活動実績有り	4.0
	災害協定の締結有り	2.0
	活動実績無し	0.0
地域防災への協力体制の有無 (評価対象の例) ・消防団協力事業所に認定されている場合 ・消防団に協力することにより表彰等を受けている場合	有り	2.0
	無し	0.0
平成20年度以降のボランティア活動実績の有無 (評価対象の例) ・清掃活動 ・除雪ボランティア	活動実績有り	1.0
	活動実績無し	0.0